



「第32回地域づくり団体全国研修交流会 三重大会 亀山市分科会」の開催について

11月7日（金）から開催される第32回地域づくり団体全国研修交流会三重大会において、亀山市では8日（土）、9日（日）の両日、「東海道三宿の歴史文化を活かした地域づくり」をテーマに亀山市分科会が同分科会実行委員会の主催により開催されます。

この全国大会は、各地の地域づくり団体関係者や地域づくりに興味のある方を対象に、自主的・主体的な地域づくりの推進に資するための全国レベルの研修を行うとともに、参加者相互の情報交換等の場とすることを目的として毎年開催されており、今回の三重大会には、総勢約270名の方がお越しいただくことになっており、本市の分科会では12名の方をお迎えいたします。

分科会では、まちなみ保存や伝統文化の継承などさまざまな形で地域づくり活動に取り組んでいる市内の団体の事例紹介や歴史的なまちなみが残る「関宿」や亀山城多門櫓、武家屋敷を有する「亀山宿」をご案内し、参加者の皆さんに歴史的な風情を感じ取っていただける内容となっています。

また、国民宿舎関ロッジで行う夕食交流会では、「坂下宿」の郷土芸能である正調鈴鹿馬子唄の披露のほか、亀山みそ焼きうどんや亀山茶を使ったデザートなどオリジナリティ溢れる食事の提供を計画しており、当地ならではの様々な文化をお楽しみいただきながら、日ごろの地域づくり活動について、思う存分語り合い、交流を深めてもらいたいと思います。